



自社製品の開発に注力。若手の活躍の場に

中村編織工業は最新の織機や長く使い込んだ機械を駆使して、顧客のあらゆるオーダーに応えています。自社製品の開発やワークライフバランスに優れた職場づくりにも力を入れています。

アパレルやスポーツ、自動車、メディカル、産業資材など、細幅ゴム入り織物であれば、何でも製造できるのが中村編織工業の強みです。しかも、どんな小ロットでも引き受けるという対応力で取引先から重宝されています。

ユニークなところでは面ファスナーのB面(表面がふかふかの方)のゴムも製造可能です。靴紐の代わりに使うなど、スポーツ・メディカル分野でニーズが伸びているそうです。



代表取締役
中村 修一さん

自社商品の開発にも意欲的に取り組んでいます。例えば、自転車に乗る際にズボンのすそを伸びるB面ファスナーで止める「スノッパパー」、着崩れ防止に便利な「和装ベルト」は、かほく市特産品ブランドとして道の駅高松で販売され、

好評を得ています。開発を手掛けるプロジェクトチームは、若手社員が中心となって活躍しています(右ページで紹介)。



工場内では品質の向上や不良の低減に熱心に取り組んでいます

ワークライフバランスの向上にも意識的に取り組んでいます。2022年からは有給休暇を1時間単位で取れるよう就業規則を改め、ちょっとした用事や通院でも使いやすいしました。毎月第1・3水曜はノー残業デーを実施。家庭の事情等に応じて出勤・退社時間を1時間遅くすることも可能です。

このほか、義務化に先駆けて定年を60歳から65歳に延長。「年金が支給されるまで、安心して働いてほしい」と中村社長は話します。

Staff



総務課長／商品開発部
中村 遥さん
2007年入社

商品開発部
大島 陽子さん
2010年入社

開発は自身が成長できる場。興味引くとうれしさひとしお

中村●現在、自社商品開発のプロジェクトチームは私たちを含め、3人で活動しています。東京で開催される展示商談会を目標に、最低でも年に1つは開発しています。

大島●展示商談会で、私たちが企画した商品に興味津々で話を聞いてもらえるとうれし

くなります。ファッション業界のいろんな話が聞けるのも楽しみです。

中村●開発は既存の商品を調べたり、自社の技術に理解を深めたりと勉強とスキルアップの場にもなっています。

大島●普通の仕事は単純作

業も多いですが、一流ブランドのものも多く、いろんな織りや柄があるので、飽きが来ません。

中村●今はコロナ禍で難しいのですが、イベントがちょこちょこあるのも楽しみです。特に皆で力を合わせるレガッタ大会は燃えますね。

Topic

イベントで息抜きとコミュニケーションを

「根気のいる仕事だけに息抜きを」「社員のコミュニケーションにもつながる」との思いから、社内イベントが多く、イベント委員が年間予算の中でバーベキューや日帰り旅行を企画します。レガッタ大会や消防技術大会への参加も恒例です。



株式会社中村編織工業

<http://www.e-himo.co.jp>

かほく市大崎り3番地
TEL. 076-283-3535
代表者／中村 修一

創業／1948(昭和23)年
資本金／1,400万円
従業員数／26名(パート含む)

